



# Newsletter

Kyoto University International Undergraduate Program

No. 13  
2023.12

## この号の内容

1. Kyoto iUP生の全体交流会を開催しました
2. Kyoto iUP生がインターンシップに参加しました
3. 2023年度生の予備教育課程開講式を開催しました
4. 2024年度生の選抜審査が始まります

Kyoto iUP留学生の声  
Vol.8

## 1. Kyoto iUP生の全体交流会を開催しました

2023年6月29日に、学部にも所属するKyoto iUP生と吉田カレッジオフィス教職員との交流会を実施し、総勢71名のKyoto iUP生と、19名の教職員が参加しました。

宮川 国際高等教育院長による挨拶では、梅雨の由来についてユーモアを交えたミニレクチャーがあり、学生は何となく理解して使っていた日本語について、より深い理解を身につけたようでした。

続いてKyoto iUP生が近況を報告しました。1回生は交流会に初参加のため一人ずつ自己紹介を行い、上回生は頑張って1回生の顔と名前を覚えようとしていました。昨年度までコロナ禍で制限されていた対面授業や課外活動も元の状況に戻り、Kyoto iUP生は勉学に励みながら課外活動や友人との交流も楽しんで、充実した大学生活を送っているようでした。

長谷部 プログラムマネージャーからは、Kyoto iUP生に期待すること、また交流会の約1か月後に迫っていた期末試験に関する説明がありました。「期末試験」という言葉が登場した瞬間、Kyoto iUP生の表情に緊張が走りましたが、長谷部 プログラムマネージャーからの激励もあり、試験に向けて本格的に準備する決意がついたようでした。

最後に、学生と教員がグループに分かれて交流する時間を設けました。学生と教員、同級生同士、先輩と後輩で近況を報告し合ったり、相談に乗ったりしながら親睦を深めていました。切磋琢磨しながらチャレンジングなプログラムで一生懸命頑張っているKyoto iUP生を、吉田カレッジオフィス教職員だけではなく先輩Kyoto iUP生もサポートしています。



同級生とも久しぶりの集合



先輩のアドバイスを聞く後輩たち



チームKyoto iUP、大集合写真！



## 2. Kyoto iUP生がインターンシップに参加しました

夏季休業期間を利用して、9月にKyoto iUP生がインターンシップに参加しました。2023年度は株式会社日本触媒様、住友化学株式会社様のご協力を得て、Kyoto iUP生向けのインターンシップを実施いただきました。Kyoto iUP生に貴重な機会を与えてくださった皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

### ●株式会社日本触媒様

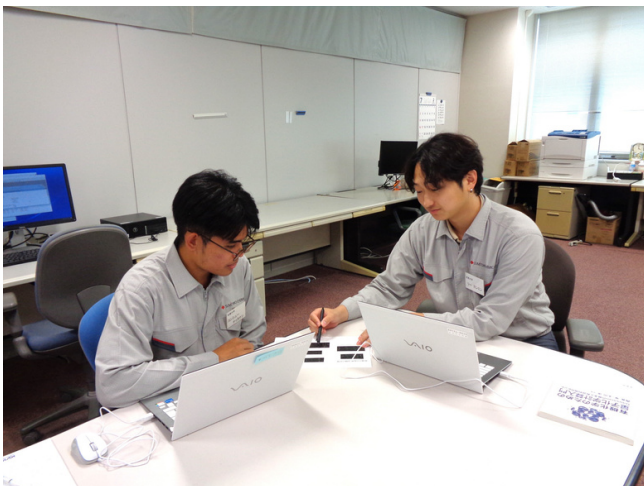
9月4日から8日まで、コーポレート研究本部研究センターでKyoto iUP生2名を受け入れていただきました。Kyoto iUP生は大学で学んだ知識も活用しながら、受入れ先の研究グループでテーマに沿った実験に取り組みました。ちょうど大学で理論を中心とした説明を受けていたものの、具体的なイメージを掴めていなかったことが、インターンシップでの実験を通して実感できたという喜びもあったようです。研究室と企業では重視していることや目的が異なるということを知り、生産性やコスト等を意識しながら研究に取り組めたこと、多くの測定装置に触れ今後の研究活動にも活かせる経験ができたことは、Kyoto iUP生にとって「化学」や「化学メーカーで働くこと」を実感でき、大きな学びとなりました。



株式会社日本触媒 受入れご担当の皆様

### ●住友化学株式会社様

9月11日から22日までKyoto iUP生2名が先端材料開発研究所で、9月25日から29日までKyoto iUP生1名が工業化技術研究所で、それぞれ実習に取り組みながら現場における業務を体験しました。参加したKyoto iUP生は、社員の方々や他の参加学生と日本語でコミュニケーションを取りながら、様々な角度からの視点が問題解決に多くのアイデアをもたらすこと、大学で行う研究と仕事として行う研究の違い等を実感し、非常に刺激を受けたようです。会社の安全教育や福利厚生制度についても学ぶことができ、社員の方々が毎日頑張っている理由が分かった、良い環境で仕事をされていると感じた、という声もありました。

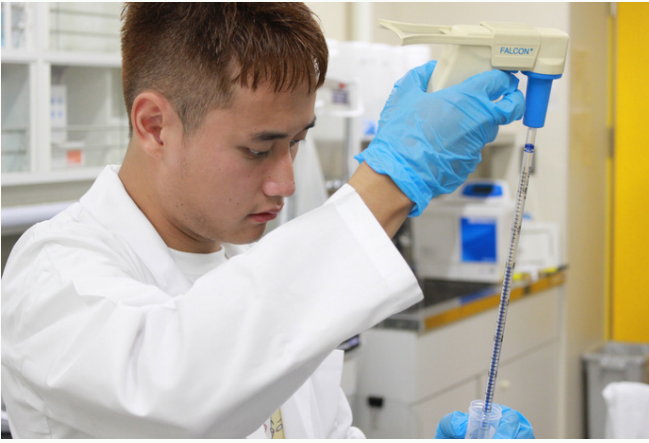


住友化学株式会社様で実習に取り組むKyoto iUP生

### ●京都大学物質—細胞統合システム拠点(iCeMS)

本学の研究室で実際に行われている研究を体験できる機会として、iCeMSと連携し、Kyoto iUP生向け研究インターンシップを実施しました。9月4日から29日まで、Kyoto iUP生4名がiCeMSの4つの研究室に分かれて研究体験を行いました。授業で学んだ知識を深めるとともに、実験ノートの取り方やポスター発表のスキルを身につけ、研究者として常に疑問を持ち続ける姿勢、柔軟性、独自のアプローチ等が重要であることを学びました。最終日のリトリート(研究交流会)では、それぞれの研究活動について発表を行い、約190名の参加者からフィードバックを受けたほか、Kyoto iUP生1名が優秀ポスター発表者の一人に選ばれました。





iCeMSで研究体験中のKyoto iUP生

インターンシップで得られた経験は、Kyoto iUP生の今後の研究活動や将来のキャリアにおいて貴重な財産になることと思います。視野を広げて帰って来たKyoto iUP生が大学での学びをさらに深め、将来の日本社会を支える人材へと成長してくれることを期待しています。

### 3. 2023年度生の予備教育課程開講式を開催しました

2023年9月29日に、2023年度生の予備教育課程開講式を開催しました。今年度は20名の学生を12の国・地域から迎え、初めてインドやドイツ出身の学生が加わり、一層多様な顔ぶれとなりました。

初めに、國府 教育・学生・入試担当理事が歓迎の挨拶を行い、京都大学の基本理念である「自学自習」について説明したうえで、友人を作り日本語を懸命に学ぶよう、予備教育履修生を激励しました。続いて、宮川 国際高等教育院長がプレゼンテーションを行い、吉田兼好の『徒然草』のエピソードや孔子の言葉を紹介した後、分からないことは積極的に周りの人々に相談し、そこから学ぶことの重要性を強調しました。次に、予備教育を担当する吉田カレッジオフィスの各教員が自己紹介を行い、最後に予備教育履修生が一人ずつ大学生活への抱負を語りました。

10月2日から予備教育課程の授業を行っています。予備教育履修生にとっては、全く新しい環境での生活が始まりました。6か月間、互いに助け合いながら実りある時間を過ごしてくれることを願っています。



2023年度予備教育履修生を迎えて

## 4. 2024年度生の選抜審査が始まります

2024年10月に予備教育履修生として受け入れるKyoto iUP生の出願受付を11月1日から開始しました。選抜審査スケジュールは以下のとおりです。ますます多様性を増してきたKyoto iUPに新しくどんな学生を迎えることができるのか、教職員も先輩となるKyoto iUP生も楽しみにしています。

- ・出願期間 2023年11月1日～2023年12月4日
- ・面接審査 2024年2月27日～2024年3月11日
- ・合格発表 2024年4月5日

### Kyoto iUP留学生の声 Vol.8

WEI, Min-Zih 教育学部3回生(台湾)

毎年世界のトップレベルの学生を招いて開催している京都サマープログラム(※)に、学生リーダーとして参加しました。昨年度も参加していましたが、オンラインだったので他の学生との交流が少なかったところ、今年は対面に戻るため他の人とさらに深く関わることができると思い、参加することになりました。学生リーダーとして加わるのは初めてでした。



学生リーダーの仕事は、事前にイベントの計画をしたり、留学生が京都に着いた後のサポートをしたりすることです。私が担当したのはDiscussion in Englishという、英語で様々なテーマを話し合うセッションで、ディスカッションのテーマや当日の流れなどを考えました。他の担当者とコミュニケーションを取り、良いセッションになるよう頑張りました。大切にしていたのは周りの人との交流や人間関係作りです。授業以外の自由時間にも近所の良いところやレストランを留学生に案内しました。

様々な国から来た学生と交流し、それぞれの国の文化や言語学習のことなど、色々話せて嬉しかったです。また、京都大学の学生同士と一緒にプログラムの内容を計画し成し遂げたことで、達成感を感じました。日本人の学生リーダーとは、プログラム終了後も交流を続けており、いつかまた一緒に遊びに行く約束もしました。

#### 河合淳子 国際高等教育院教授からのコメント

学生リーダーは、海外学生をホストする側として企画、運営を行いますので、日本に精通した力が求められます。また、自らも楽しみながら、皆と協力して充実した時間を創造する力も必要です。iUP留学生であるWEIさんが、local学生の一員として奮闘してくれたことは、本人はもちろん、Kyoto iUPにとっても意味のあることだったと考えています。

(※)京都サマープログラムとは…京都大学国際高等教育院、京都大学アジア研究教育ユニットが主催する短期交流プログラム。海外学生と本学学生の共学を軸とし、学術講義、日本語教授実習、討論会、文化体験等への参加を通して、本学学生はさらなる国際的活動への、海外学生は将来にわたる本学ひいては日本との関係への礎を築くことを目的に実施している。

#### Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 吉田カレッジオフィス事務室

Email: yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(\*を@に変えてください)



Kyoto iUP\_Kyoto University



Kyoto iUP



<https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>